

令和8年度 函館市医療・介護・障がい福祉連携多職種研修会～介護・障がい福祉関係者向け～
アンケート集計結果(令和8年8月19日開催分)

n=29 (回収率 72.5 %)

研修参加人数:40名

1. 所属エリアをお聞かせください。

・函館市	19	(65.5%)
・北斗市	7	(24.1%)
・七飯町	3	(10.3%)
計	29	(100.0%)

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	3	(10.3%)
・介護機関	19	(65.5%)
・障がい福祉機関	4	(13.8%)
・その他	3	(10.3%)
計	29	(100.0%)

3. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	0	(0.0%)
・保健師	1	(3.4%)
・看護師	2	(6.9%)
・ケアマネジャー	12	(41.4%)
・相談員	2	(6.9%)
・介護職員	3	(10.3%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	1	(3.4%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	0	(0.0%)
・相談支援専門員	1	(3.4%)
・就労支援員	2	(6.9%)
・職業指導員	1	(3.4%)
・生活支援員	1	(3.4%)
・その他	3	(10.3%)
計	29	(100.0%)

4. 今回のテーマ(内容)はいかがでしたか？

・よかった	29	(100.0%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)
計	29	(100.0%)

【ご意見等】

【医療機関】

<看護師>

- ・ 富田病院のことや精神疾患の退院支援は分からなかったので学びました。

<相談員>

- ・ 精神医療が皆さんにとって接するきっかけになってもらえたらよいです。

【介護機関】

<ケアマネジャー>

- ・ 看護補助者として働いていたことがあります。精神科の閉鎖病棟にいたこともあります。挨拶ただけでキレられたこともありました。出勤し、病棟に入ったその足元に座り込んでいる患者様もいました。夜勤中、「本当の話だから聞いてほしい。お母さんが手術をしたので行かなければならないので、病棟の戸を開けてちょうだい。」と言われたこともありました。一般の方には理解しがたい偏見は確かにあると思います。10年ほど勤めました。病院から離れ、今は介護施設でケアマネをしています。認知症をはじめ精神疾患についてはいまだ難しさを感じています。
- ・ 病院の仕組みを忘れてしまっていたので、改めて知る(学ぶ)よい機会となりました。精神科のイメージは私も少なからずあったので、もっと精神患者について知り、「知らない、見えない怖さ」を減らしていきたいと思いました。
- ・ 精神科医療・医療療養病床について、わかりやすく説明していただきました。
- ・ 病院の仕組み(特に医療区分)や入院の仕方の違いがわかった。
- ・ 精神科病棟や療養病床について、改めて認識することができました。
- ・ 病院側の現状を少し理解できた。
- ・ 参加しやすい、研修会の時間。

<相談員>

- ・ 精神科受診までに時間が要することは理解していますが、早めていただけるような工夫ができるのか知ることができなかった。

<介護職員>

- ・ 業務上、急性期の病院に関わることはありますが、慢性期の病院と関わることなく入院の要件や医療区分についての勉強になりました。
- ・ 精神科医療についての話は初めてだったのでよかった。とてもわかりやすかったのがよかった。
- ・ 知識が乏しい方面のお話でしたので、興味深かったです。

<社会福祉士>

- ・ 医療機関の役割について、改めて学ぶことができてよかったです。

【障がい福祉機関】

<生活支援員>

- ・ 七飯町にほど近い桔梗に事業所があるため、近隣の医療機関のことをよく知ることができてよかったです。地域との連携について、病院の関係者様のご意見がとても参考になりました。本日は、ありがとうございました。

<就労支援員>

- ・ 普段詳しく聞けない分野で、大変タメになりました。

【その他】

<学生(高校生)>

- ・ まだ高校生で普段聴くことのない内容だったのでとても興味深かった。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【医療機関】

<相談員>

- ・ 就労支援の支援者同士の繋がりを作る機会。就労事業所は系列内や個人で完結しすぎていると思う。当事者への接し方を自ら省みる・学ぶ研修会、支援者同士が互いを認め合う関係性を作る研修会、支援者同士の各機関のイメージの共有の確認ができる研修会等。

【介護機関】**<ケアマネジャー>**

- ・精神疾患をもつ患者さんとの関わり方。(コツとか話し方とか)独特のコミュニケーションとどう関わっていけばいいのか教えてほしい。精神科の患者さんへの壁をなくしていきたいと思っている。(自分次第なことだけど)
- ・介護施設での人材確保のやり方, 各職種(介護, 看護, CM, SW, リハetc)の取り組みや苦悩, 病院や施設にありがちな苦悩etcを皆で共感し支え合える研修がしたいです。
- ・医療と介護, 特に在宅医療についての事例を改めて学びたい。また, 看取りについてももう一度研修会やグループワークもあれば良いと思います。
- ・特定事業所加算算定要件となる内容。BCP, 虐待等必要な研修(必ず行わなければならない)。
- ・医療と介護の連携に関わる内容で, 医療面, 病院等からの発信。より良い対応のために。
- ・今回の研修会は楽しいと感じましたので, 似たようなものを希望します。

<社会福祉士>

- ・精神科外来受診関係の研修。精神科療養生活継続支援加算など, 精神科救急の実際等。
- ・身寄りのない人への対応など知りたいです。

【障がい福祉機関】**<就労支援員>**

- ・今回のように, 事例を基にしたお話を聞かせていただきたいです。

<職業指導員>

- ・統合失調症やうつ病に対応する方法。医療・介護・障がい福祉の連携を行うにあたり, 今後の就労継続支援B型事業所の役割。

<生活支援員>

- ・引き続き, 地域連携の研修や多職種が参加できる研修ですと大変興味があります。

【その他】**<学生(高校生)>**

- ・もっと深掘った内容を聴いてみたいと感じました。

6. その他, ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。**【介護機関】****<ケアマネジャー>**

- ・いつも研修の設定や調整をいただきありがとうございます。研修を受けることで業務への向き合い方が変わり, 改まり, 本当にありがたいです。お話を聞く誰もが勉強になります。これからもよろしくお願いいたします。講師のお二人, センターの皆様ありがとうございました。
- ・特にありませんが, 参加できることができたならまた参加したいです。

<介護職員>

- ・例えばサザエさん一家にすることで, わかりやすくイメージしやすくよかったですと思います。